

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 1 日 (2021.4.1)

【公開番号】特開 2019-115575 (P2019-115575A)

【公開日】令和 1 年 7 月 18 日 (2019.7.18)

【年通号数】公開・登録公報 2019-028

【出願番号】特願 2017-252410 (P2017-252410)

【国際特許分類】

A 6 1 F 13/551 (2006.01)

A 6 1 F 13/56 (2006.01)

A 6 1 F 13/58 (2006.01)

【F I】

A 6 1 F 13/551 2 0 0

A 6 1 F 13/56 1 1 0

A 6 1 F 13/58

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 2 月 12 日 (2021.2.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

前後方向と、

前記前後方向に直交する幅方向と、

表面シート、裏面シート及び吸収コアを有する本体部と、

前記裏面シートに配置され、着用物品に吸収性物品を固定する粘着部と、

前記裏面シートに配置された後処理用のテープ部材と、を有する吸収性物品であって、

前記テープ部材は、前記テープ部材の一端側に配置され、かつ前記裏面シートに固定された固定部と、前記テープ部材の他端側に配置され、前記裏面シートに剥離可能に配置された非固定部と、を有し、

前記粘着部は、前記テープ部材の一端側から前記他端側に向かう第 1 方向と直交する第 2 方向において、前記非固定部を挟んで配置される一対の第 1 粘着部を有する、吸収性物品。

【請求項 2】

前記第 1 粘着部は、前記第 1 方向に延びており、

前記第 1 粘着部と前記非固定部が前記第 2 方向において重なる重複領域を有し、

前記重複領域の前記第 1 方向の長さは、前記非固定部の前記第 1 方向の全域に対する 50 % 以上である、請求項 1 に記載の吸収性物品。

【請求項 3】

前記重複領域の前記第 1 方向の長さは、前記非固定部の前記第 1 方向の長さである、請求項 2 に記載の吸収性物品。

【請求項 4】

前記第 1 粘着部は、前記第 1 方向に延びており、

前記第 1 粘着部は、前記テープ部材の前記他端を前記第 1 方向において跨いでいる、請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 5】

前記第 1 粘着部は、前記第 1 方向に延びており、

前記第 1 粘着部は、前記テープ部材の前記一端を前記第 1 方向に跨いでいる、請求項 1 から請求項 3 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 6】

前記粘着部は、前記第 1 粘着部間に配置された第 2 粘着部を有し、

前記第 2 粘着部は、前記テープ部材の前記他端側に配置されている、請求項 1 から請求項 5 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 7】

前記粘着部は、前記第 1 粘着部間に配置された第 3 粘着部を有し、

前記第 3 粘着部は、前記テープ部材の前記一端側に配置されている、請求項 1 から請求項 6 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 8】

前記テープ部材は、前記粘着部の前記第 1 方向の端縁よりも前記第 1 方向の外側に延出している、請求項 1 から請求項 7 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 9】

前記テープ部材の一部は、剥離シートによって覆われており、

前記剥離シートは、前記粘着部の前記第 1 方向の端縁よりも前記第 1 方向の外側に延出している、請求項 1 から請求項 8 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 10】

前記吸収性物品は、前記幅方向に沿って延びた複数の折り目を基点に折り畳まれており、

前記テープ部材は、前記複数の折り目のうち最も後側の折り目よりも後側に設けられている、請求項 1 から請求項 9 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。

【請求項 11】

前記粘着部は、前記幅方向における前記吸収コアの外縁よりも外側に膨らんだヒップフラップに設けられたフラップ粘着部を有し、

前記テープ部材は、前記フラップ粘着部よりも後側に設けられている、請求項 1 から請求項 10 のいずれか 1 項に記載の吸収性物品。